

議会 だより



令和3年7月19日

飯田市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.224

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

80
古紙配合率80%紙

第2回定例会など
一般質問
行政評価・委員会
議員研修会など

②～③
④～⑥
⑦～⑪
⑫

わだっ子茶の茶摘み(南信濃)

ウェルカムティープロジェクト

～遠山のお茶で人々を呼び込もう～



令和3年 第2回 定例会

令和3年第2回定例会を6月4日から6月28日までの25日間にわたって開催しました。

4月の市議会議員一般選挙後初となる今定例会では、新体制の委員会へ付託された議案の審査を行いました。

市長提出の条例案件9件、一般案件4件、予算案件3件は、すべて原案どおり可決しました。また、閉会日には、委員会から提出のあった、請願書への押印について署名による提出もできるようにする市議会会議規則の改正を行う議会議案を可決しました。

定例会初日の6月4日に即決した新型コロナウイルス感染症緊急対策事業第8弾関係予算、中日6月16日に即決した第9弾に關係する補正予算案について、予算決算委員会全体会の審査、さらに、分科会の審査の様子をこの頁の中段から次頁において掲載いたします。



新型コロナウイルス感染症緊急対策事業 第8弾

お祭りの実施に関する支援について

Q りんごん、灯ろう流し、そして、お練りまつりの3つの事業に補助するということが、獅子舞フェスティバルなどに対する補助は。

A それぞれの開催実施の方針を受けて支援等の対応をしていく。獅子舞フェスティバルは、実行委員会が実施について検討している段階と伺っている。実施の方針が決まり次第、支援のための予算措置を検討する。

「飯田市民支えあい市内観光キャンペーン」について

Q 農家民泊は対象となるか。

A 民泊法の登録があれば対象となる。

Q PRはどのように行うか。

A 広報や観光キャンペーン専用のホームページでお知らせしていく。また、宿泊割引クーポンの販売を市内の観光案内所で行う。

公民館施設の公衆無線LANの整備について

Q オンライン会議のためのインターネット接続や設定などに困る方へのサポートは。

A 公民館主事を中心にサポートしながら、インターネットの活用を推進していく。



請願 「国に対し、後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書を提出願いたい」は、審議の結果、「不採択」となりました。

本会議において、本請願を不採択とする委員長報告に対し、反対の討論があり、起立採決が行われました。委員長報告に賛成多数の起立があり、本請願は不採択と決しました。

《委員会審査から》

不採択 の意見 今回の制度改正の意義は、団塊の世代が75歳以上になり始める中、少しでも多くの人に、能力に応じた負担をしていたことが重要であり、若者と高齢者で支え合い、若い世代の負担上昇を抑えるという長年の課題に対応することとなっている。持続可能な医療保険制度の見直しは、今後も続けていくことが求められ、今回の改正はその始まりだと考えている。負担と給付は悩ましい問題ではあるが、少子高齢化に対応する福祉制度として、課題を先送りしていかないことが今後求められていると考えることから、不採択。

採択 の意見 新聞報道によると、現役世代の負担は年間1人当たり年額700円、企業負担を除くと月額約30円の負担軽減に過ぎないところから、地元の高齢者にもっと目を向けていくべき。財源は国のことなので、地方議員として地元の皆さんに寄り添いたいという視点から、採択。

新型コロナウイルス感染症緊急対策事業
第9弾

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐための
水際対策

Q 今回、簡易検査キットを無料配布するということだが、有償配布は検討されたか。

A 県内でも初めての取り組みとなる中、できるだけ多くの方のご協力を得るために無料配布とした。この取り組みが水際対策として有効であったとき、自己負担がどれくらいならご協力いただけるか検証していく。

Q この事業により水際対策の有効性の検証結果をどう活用するか。

A 検証して有効な場合、人の移動が多く見込まれるお盆や第5波以降の水際対策として、活用の検討を行う。

Q 今回の簡易検査キットの選考経過は。

A 精度等が国に認められたものを選定している。医療従事者が使用しているものと同じ。

Q 人の移動が多く見込まれる時期を見据えると日程も厳しいが、どのように検証していくのか。

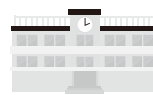
A ニーズをはじめ、使用感や利便性、安心感などをアンケート調査により検証し、総合的な判断により次へつなげていく。また、偽陽性の発生などについても検証していく。

教育現場への支援

「スクールサポートスタッフの配置」に関して

Q 標準学級数7学級以上の11校は、県負担で配置し、必要となる6学級以下の16校に、市の負担でスクールサポートスタッフを配置したいとのことだが、必要^な部分を県が負担せず、市が負担する理由は。

A 県が基準とする標準学級数7学級に満たない小規模校においても、学校内・教室内の消毒作業などの業務を支援するスクールサポートスタッフの配置は必要と判断した。



コロナ禍の環境変化を捉えたサテライト
オフィス等の開設支援に関して

Q 地方創生テレワーク交付金を活用したサテライトオフィス等開設支援事業補助金の内容は。

A エス・バードへのお試し入居の支援補助金が30万円×4社の120万円、エス・バードのインキュベート施設への入居支援金が100万円×4社で合計520万円。

Q 誘致する企業のオフィスとしてエス・バード以外のものがあるか。

A 今回の地方創生テレワーク交付金を活用しての整備としては、エス・バードのインキュベート施設のみである。

今後の市議会の方向性について

議長記者会見を6月29日に開催し、第2回定例会の振り返りなどについて、井坪隆議長と山崎昌伸副議長から発表しました。

会見では、今後の市議会の方向性に関して、5月18日の議長選挙における所信表明演説を体系的に整理・要約（以下ポイント）し、議長より発表がありました。

- 1 飯田市議会モデルを創る
- 2 「四つの方向」に向き合う
 - (1) 市民と向き合う
 - (2) 執行機関側と向き合う
 - (3) 議会と向き合う
 - (4) 飯田下伊那と向き合う



記者会見に臨む井坪議長

企業誘致についてと 4年生大学の誘致は

筒井 誠逸 議員 (新政いいだ)



A ここ2年間で3社の企業誘致が実現し、33名の雇用が生まれた。工業課に企業立地係として課長以下3名を配置しており、ここぞというときには市長がトップセールスを行う姿勢で企業誘致に臨んでいる。4年制大学の誘致は、環境が変化する中で幅広い視野に立ちながら時宜に即して活動していく。信州大学との関係をさらに深めながら進めていきたい。

Q 若者が定住し、安心して家庭を築くために優良な職業・就職先の確保が大切。また、4年制大学の誘致の可能性は。

ズバリ 市政を 問う!

第2回定例会の一般質問の概要を紹介します。(17名・質問順)

■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子は
YouTubeで
動画配信しています



子どもたちの義務教育の セーフティネットについて

福澤 克憲 議員 (会派きぼう)



A 前払いは保護者の負担軽減につながるかと考えるが、計画的に活用いただくことも考慮し、県内他市及び近隣町村の対応等を情報収集し、研究していく。認定は基本的に前年度の所得が基準となるが、コロナ禍に鑑み、休業や失業など収入の状況が前年と変わった場合でも対象となるように対応するとともに、制度を周知していきたい。

Q 就学援助費の支給時期について、現状の基本後払いではなく、前払いにするなどの要綱見直しが必要では。

燃やすごみ・プラスチックごみの 排出量削減に向けて

竹村 圭史 議員 (会派きぼう)



Q 燃やすごみ・プラスチックごみの排出量削減に向け、さらに一歩踏み込んだ取り組みが必要ではないか。

A コロナ禍の影響によるテイクアウト需要の増加に伴い、使い捨て容器の使用が増加している。令和2年度の燃やすごみの組成調査では、プラ資源の混入が紙資源の混入を初めて上回っている状況も踏まえ、生活の中で繰り返し使用できる容器の使用を拡大していくようにライフスタイルを改めていく啓発が必要と考える。

■産業振興について

介護人材の確保について

市瀬 芳明 議員 (日本共産党)



A 今年度から介護保険事業所の運営基準が見直され、全事業者に対してハラスメント対策の強化が求められている。事業者が必要な措置を講じられるよう、市も保険者として支援していく。事業所に就労する職員への負担軽減や離職の減少に繋げるため、事業所への聞き取りを行い検討していく。まずは事業者や介護職の皆さんへの聞き取りに足を運びたい。

Q 介護職員等への精神的ケア・身体的なケアをどう考えるか。

新型コロナウイルス感染症対策の ワクチン接種について

古川 仁 議員 (日本共産党)



Q 大変な中、各医療機関にご協力をいただいているが、多くの市民が早期に接種するためには。

A 現場での混乱をできるだけ少なくできるように関係機関のご意見を伺って進めていきたい。64歳以下の方への接種券送付の際には、「まずはかかりつけ医に予約を」というこれまでのアナウンスの仕方を工夫したい。個別の医療機関の負担を減らせるように集団接種会場の体制を強化し、より多くの方が集団接種会場で接種できるように進めていきたい。

防災・減災対策の強化について

永井 一英 議員 (公明党)



Q 小中学校の体育館とグラウンドのトイレの洋式化は、いつまでに完了できるか。

A 未整備の体育館及びグラウンドのトイレについては、今年3月に策定した「飯田市教育委員会施設等総合管理計画」に基づき、今後5年間で、男女別の区画（ブース）に最低でも1か所の洋式トイレの設置を進めていきたいと考えている。

■準用河川災害危険箇所調査の進捗状況と結果に対する市の認識は

農業振興の中で「人・農地プラン」の実質化とは

橋爪 重人 議員 (新政いいだ)



Q 10年前に農林水産省より提示され、当時は実現性に欠けたプランであったが、どう変わったのか。

A J Aと市が事務局の農業振興会議が中心となり、後継者の有無等のアンケートを実施し、地図に落としこめることにより、現状把握や将来を見据え、今後の方針を検討している。ある程度まとまった集落単位でアンケートをとり、地図を作成して集落で話し合いを行い、全16地区18集落の「人・農地プラン」の実質化に取り組んだ。

中心市街地の活性化について

岡田 倫英 議員 (会派きぼう)



Q (仮称)飯田駅前プラザが計画されている。整備効果を、点に留めず面的に広げていく考えはあるか。

A まちの活性化を考えると、点ではなく面で考えなければいけないことは指摘のとおりである。(仮称)飯田駅前プラザの整備構想においても、点に留まらず、面的に考えて人の流れをどう作るのか、エリア全体像をどう考えていくのか、という視点でも検討していきたい。

■リニア駅周辺整備に伴う雨水排水対策について

一人も取り残さないデジタル化への取組みについて

宮脇 邦彦 議員 (公明党)



Q デジタル化の推進で、いち早く市民にとっての利便性、職員にとつての効率性を図るべきではないか。

A 行政手続のオンライン化により、市民の利便性を向上させていくことが、市役所におけるデジタル化の意義である。市役所内部においても、デジタル技術やAI等の活用による業務の効率化を促進することが市民サービスのさらなる向上につながると思われ、4月から「庁内デジタル化推進担当専門幹」を新たに配置し、業務のデジタル化を進めている。

飯田市民支えあい市内観光キャンペーンについて

小林 真一 議員 (公明党)



Q キャンペーンを利用し、宿泊・観光する市民に、地元観光のお勧めプランなどを提供PRする考えは。

A 宿泊割引券とあわせて発行する最大2千円分の観光クーポンを積極的に観光関連施設で利用してもらえよう、魅力的なプランの発信を含めて宿泊施設の方でも紹介してもらいたいと考えている。宿泊施設に関しては、利用客の不安感を払拭してもらうため、十分なコロナ対策を行った安心安全な宿泊プランを考えてもらうことをお願いしていきたい。

農業用水の多様性と竜西土地改良区の重要性について

下平 恒男 議員 (新政いいだ)



Q 竜西一貫水路は農業用水だけでなく、防火用水、環境用水であるという観点にたった対応はできないか。

A 飯田市、高森町、松川町の3市町で協議の場を設け、課題等を共有していく必要があると考える。

農業用水のほかに、防火用水の役割を担っているが、火災が発生しやすい時期に断水するという現状の改善のため、高森町、松川町に働きかけ、検討していきたい。

■適正な農地転用について

「2050年いいだゼロカーボンシティ」宣言への取組みは

木下 徳 康 議員 (新政いいだ)



A 自動車の電動化は、2050年いいだゼロカーボンシティの実現に向けて寄与することと考える。公用車の更新時には様々な電動車の導入を検討していく。ごみ収集パッカー車両のEV化は、車両購入費、EVステーション設置費用が高額なこと、4t車両がないことから導入は厳しいが、他市の事例も含めて今後調査検討していく。

Q CO₂排出削減の観点からも公用車、ごみ収集パッカー車両のEV化の促進をどう考えるか。

ユニバーサルデザインのまちづくりについて

佐々木 博子 議員 (会派みらい)



A ユニバーサルデザインのまちづくりは、ハードとソフトの両面がある。また公共施設だけでなく、民間施設もこれからはユニバーサルデザイン化していく必要がある。庁内でもあらゆる部門の業務にまたがることから、全庁での体制や研修、地域社会への啓発にしっかりと取り組んでいきたい。

■経済的に困窮する女性への支援に関して

Q これからの飯田市のまちづくりにユニバーサルデザインの考え方をどう取り入れていくか。

コロナで変わる社会の中で、飯田市をどう導くか

清水 優一郎 議員 (新政いいだ)



A コロナ禍の今、グリーンリカバリーの視点の重要性の顕在化、都市一極集中から地方への分散の動き、SDGsが鮮明に意識されるようになった。人々の新しい価値観のもと、地域の素晴らしい価値観をもと、当時代が来ている。「日本一住みたいまち」に向け、環境を重視しながら経済再生に取り組み、ひとつずつ住みたい理由につながる解決を図りたい。

Q 市長の「日本一住みたいまち」実現のための時代認識と、これからの経済政策の考え方は。

中心市街地活性化について

熊谷 泰人 議員 (新政いいだ)



A 多目的な利用ができるというプランは興味深く、動物園からりんご並木を通って、この広場を起点として駅前プラザまで回遊できるという面的なプランが重要と感じる。

また、運営を誰が担うかが重要で、維持管理や店舗との調整を誰がどう行っていくかの役割も含め、まち全体を面的にどうプランニングしていくかを研究していきたい。

Q スポーツ交流や各種イベント、焼き肉広場などに対応した「屋根付き多目的広場」の整備をどう考えるか。

遠山郷かぐらの湯の観光施設整備について

清水 勇 議員 (会派きぼう)



A 源泉ポンプ落下事故については、請負業者と協議の上、長野県建設工事紛争審査会の仲裁手続に委ね、現在まで3回の審理が行われてきた。かぐらの湯が抱える諸問題について地元の方々の皆さんによる検討会議が立ち上がり、道の駅としてのコンセプトや機能等が検討されている。地元の議論を受けて、市としても道の駅再生に向け取り組んでいきたい。

Q かぐらの湯の訴訟の現状と今後の進め方は。施設の温泉の活用と食堂や販売店の運営の考え方は。

市長マニフェストの「有機食材の導入拡大を進める」について

関島 百合 議員 (無会派)



A 紹介いただいた自治体ネットワークは、有機農業に先進的な取り組みが共有できると分かったので、市としても加入する方向で進めていく。すでに加入している松川町が有機農業に積極的に取り組んでいることも分かったので、松川町からも情報を得るなどして連携していきたい。

■天竜川の治水対策について

Q 農林水産省が参加を呼び掛ける「有機農業と地域振興を考える自治体ネットワーク」への認識は。

「議会による行政評価」に取り組みます

予算決算
委員会

「議会による行政評価」は、議決事件とした基本構想基本計画「いいだ未来デザイン2028」の進行管理に関与し、議会としての責任を果たす目的で行っています。予算決算委員会の所管事務調査として、戦略計画を中心に基本目標ごとに評価・検証を行い、執行機関に対して提言を行ってまいります。

また、「議会による行政評価」を「いいだ未来デザイン2028」の基本目標と連動し、4年間の政策サイクルで捉え、今年度は中期計画の初年度審査として、基本目標ごとに計画の構成を評価していきます。具体的には、小戦略を評価の対象とし、基本目標の達成に向けて中期4年間で取り組む内容として適当かどうかについての評価を行います。また、進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等が小戦略の達成度、あるいは進捗状況を図る指標として妥当かどうか、他に指標が必要かどうか等についても検討を行い、提言につなげていきます。

ステップ別の日程

ステップ1	「(執行機関側からの) 成果・計画説明」	7月20日(火)～21日(水)
ステップ2	「戦略計画に対する個々の議員による評価」	～7月29日(木)
ステップ3	「分科会による意見集約」	8月3日(火)～4日(水)
ステップ4	「全体会での検討経過確認・協議」	8月31日(火) 前期全体会
ステップ5	「決算報告の分科会審査及び全体会での確認」	9月6日(月)～ 分科会 9月22日(水) 後期全体会
ステップ6	「提言と進行管理」	9月27日(月)

これまでの「議会による行政評価」の取り組みは、飯田市議会ホームページをご参照ください。

市内飲食店利用に関して要望書の提出がありました

第2回定例会の会期中6月21日に、飯田市喫茶組合長・飯田丘のまちバル実行委員長から、市内飲食店利用に関する要望書が議長へ提出されました。その内容は、新型コロナウイルス感染症対策として、県や市の指導の下、安心なお店づくりに努めているが、平日はもちろん、週末もお客様が戻っている飲食店が無く、危機的な状況から、飲食店の利用推進を願うというものです。

要望書を議会で共有し、要望の内容を受け止め、地域経済再生の観点から長野県と飯田市が勧める「信州版新たな会食のすゝめ」を順守し、「信州の安心なお店」の利用に心掛けることを確認し、6月29日の議長記者会見で発表しました。



議長記者会見の様子

総務委員会

6月18日に委員会及び協議会を
開催しました。様子は
YouTubeをご覧ください。



マイナンバーカードに関して

個人番号カード交付事業

マイナンバーカード発行申請は、昨年11月は575件であったが、今年1月は1,044件、2月は1,917件、3月には5,355件、4月3,772件、5月2,298件と昨年に比べて増加傾向にある。それに伴う交付数は、3月は1,667件、4月1,204件、5月2,442件となっている。

Q マイナンバーカード申請の急増への対応状況と今後の見通しはどうか。

A 申請者に速やかに交付案内ができるよう国から体制強化の要請があったことから、会計年度職員を1名増員して対応している状況。

今後の見込みでは、マイナポイント事業については、今年4月末までにマイナンバーカードを申請した者を事業の対象としていることから、今後申請数は減っていくことが予想される。しかし、令和4年度末の令和5年3月までにほとんどの住民がマイナンバーカードを保有していることを目指し、健康保険証

の利用推進や新たなカード普及促進策を国が打ち出していくことが想定され、また、当市としても活用策の検討を行っていくことから、今後の状況を見据えながら随時体制を整えていく。

Q マイナンバーカード申請急増の要因は何か。

A 昨年度末にかけて、QRコード付き申請書を再送付したこと、また、マイナポイント事業の対象手続期限の延長を講じたことが増加の要因として考えられる。

Q 委任状で交付申請される方もいると思うが、その対応状況はどうか。

A マイナンバーカードは、原則、本人の受け取りとなっているが、身体が不自由で来庁できないなどやむを得ない事情がある場合のみ、本人及び代理人の身分証明書の提示など一定の条件を満たせば代理人による受け取りもできる。

また、その際本人の顔の確認が必要となるが、運転免許証等がなく確認ができない場合、施設を利用して申請者の顔写真を添付した施設長の証明での確認や、市職員が自宅等へ出向くことで顔の確認をすることも可能である。



マイナンバーカードは申請から約1か月後に受取のお知らせが届きます。

飯田市消防団本部との懇談について

総務委員会では、飯田市消防団本部と6月28日に懇談を行いました。懇談では、消防団の組織概要、消防力、実員数など消防団の現状や第12次消防力（消防団）整備計画について報告や説明を受けて意見交換をしました。

意見交換では、消防団員の確保、消防訓練、地域との関わりなどが取り上げられました。近年、気候変動による急激で大規模な風水害が全国で発生しています。また、今年は三六災害から60年です。災害を知る方の経験などを大切にするとともに、有事を見据えた取り組みが重要になります。



第12次消防力整備計画では、ポンプ車(写真)から積載車へ更新が進められます。

社会文教委員会

6月21日に委員会、委員会協議会及び分科会を予算決算分科会を開催しました。委員会の様子はYouTubeをご覧ください。



中央図書館の開館時刻の変更に関して

7月1日より午前9時30分開館

中央図書館では、図書館利用者などから要望を受けて、他市の図書館などと比較検討するとともに、図書館協議会でも協議・検討し、図書館利用者の利便性向上を図るため、7月1日より30分繰り上げて午前9時30分から開館します。(中央図書館以外は、現行の午前10時から午後6時の開館時間)

Q 開館時間の30分繰り上げによる職員の勤務体制の変更は。

A 職員の勤務に変更はない。会計年度任用職員を1名増員し、対応していく。

Q 現行の午前10時～午後6時までという開館時間の設定の経緯は。

A 職員の勤務は午前8時30分から午後5時15分までと、午前9時30分から午後6時15分までの勤務体制だが、開館までに、返却された本の排架などの作業や準備を行う必要があり、午前10時としてきた。午後6時までの開館については、昭和56年の開設時、午



図書館では、返却された本を1冊ずつ丁寧に除菌して排架しています。

後5時まで仕事をされている方が仕事帰りにも利用できるよう午後6時とした。その後、午後6時では仕事帰りに利用できないということで、週に1度、木曜日を午後8時までとした経緯がある。

Q 図書館の夜間開館に関して、木曜日は午後8時まで開館しているが、市民ニーズの捉えは。

A 夜間開館を増やすことを直接要望する声はほとんどないが、以前行ったアンケートでは、夜間開館を希望する回答もあった。**意見** 夏場は日が長いこともあり、仕事が終わってからの図書館利用について、市民ニーズの把握、開館時間の延長を検討してはどうか。

少子化における教育環境の充実に向けて 検討のための意見聴取をスタート

子どもが育つ上で教育環境の継続・維持は重要です。現状としては、児童・生徒数の減少、学校建物の老朽化などの課題があります。これらの課題がありつつも、飯田らしい教育環境の充実を図るため、教育委員会(学校教育課)が主導して研究会を立ち上げ、校区の運営協議会などを通じて意見聴取を始めました。今年度において、丁寧に、時間をかけて実施される予定です。

Q 学校統廃合を前提としたものか。

A 学校統廃合を前提とした話し合いは止めるべきと研究会の皆さまからご意見をいただいている。現状の課題について情報共有しながら、学校・保護者・地域のそれぞれの立場で意見を出し合ってもらうところから始める。

Q 意見を聴くだけで終わってしまわないか。また、1～2年で交代していく実態にあるPTAの意識について、どう考えているか。

A 意見聴取したあと、検討に向けて課題を整理していく。将来1～2年というものから、具体的にいつまでとはできない課題もあるが、しっかりと整理して次へ進めていきたい。また、保護者の意識については、学校運営協議会の課題の一つになっている。改善に向けて、コーディネーターである公民館と学校の間で相談・連携をとっていくところである。

産業建設委員会

6月22日に委員会、協議会及び予
委員会協議会及び予
算決算分科会を
開催しました。様子は
委員会の様子は
YouTubeをご覧ください。



行政手続における押印の見直しに伴う 下水道受益者負担金等の条例改正に関して

飯田市が市民等に提出を求める全ての申請書等の押印、署名及び記名について、「飯田市における行政手続の押印、署名及び記名の見直し指針」に基づき、市民等の利便性を高めるため、見直しを進めています。この見直しに伴って、飯田市公共下水道区域外汚水の排除に係る分担金徴収条例及び飯田市公共下水道受益者負担に関する条例の一部を改正する議案の審査を行いました。

Q 行政手続の押印、署名及び記名の見直しの状況について、市民生活に関わるものも多いと思うが、押印を廃止できないものはどのようなものか。

A 地方自治法第234条第5項の規定による契約書を作成する場合、国及び県の法令、条例、通知等により押印が義務付けられているもの、登録印を求めて印鑑証明と照合する必要があるもの、などについては引き続き押印を求める。



農業施設等補助災害復旧事業 頭首工復旧工事の工事請負契約の締結について

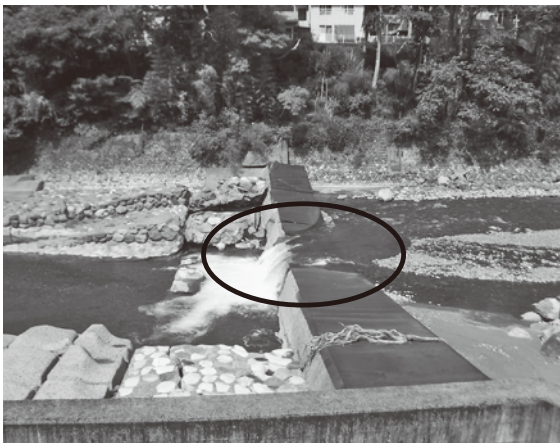
令和2年に被災した南信濃和田、遠山川の頭首工復旧工事に係る契約締結に関する議案の審査を行いました。

Q 工事名の契約年度について、令和2年度とあるが、過去に遡った契約か。

A 災害復旧事業にあたり、予算の関係で、令和2〜4年度の債務負担行為をとり、3カ年の事業として進めている。国からの補助の関係で令和2年度予算が入っている。

Q 当該事業の当初の予算措置はいつか。

A 本契約は令和2年7月21日に市長専決により予算措置し、同年8月の市議会第2回臨時会で議会の承認があったもの。



頭首工の被災状況

頭首工(とうしゅこう)とは、農業用水を河川から取水するため、河川をせき止めて水位を上昇させ、水路へ流し込む施設のこと。

産業建設委員会管内視察と 天龍峡温泉交流館指定管理者との懇談について

5月25日に実施の産業建設委員会管内視察に合わせて、今年4月より天龍峡温泉交流館「ご湯つくり」を指定管理している一般社団法人「天龍峡ひとつな」の役員の皆さんと懇談し、施設の運営方針などについて意見交換しました。

意見交換では、新型コロナ禍における観光入込みの状況や地域の皆さんの入浴利用などについて意見がありました。

管内視察では、別府井戸、リニア代替地整備事業、エス・バード、天龍峡大橋そらさんぽ及び龍東道、天龍峡温泉交流館「ご湯つくり」、リニア中央新幹線中央アルプストンネル松川工区、平成記念飯田子どもの森公園を巡りました。



非常用発電装置と連結した給水車

安定した水質と水量により、災害時において市民に十分な飲料水を確保できる「別府井戸」に設置されている。

リニア推進 特別委員会

6月23日に委員会及び委員会協議会を開催しました。委員会の様子はYouTubeをご覧ください。



リニア推進ロードマップの修正と リニア関連事業の進捗について

リニア推進ロードマップは、「いいだ未来デザイン2028」や、国や県の計画等を踏まえて2017年に全面改正し、以降、毎年時点修正が行われています。2021年度は「いいだ未来デザイン2028」の中期計画を反映して修正したことの報告がありました。また、ロードマップに係るリニア関連事業の進捗などについて協議しました。

リニア推進ロードマップ 2021年度の主な修正内容

- ①長野県が進めている、リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議で確認された、「リニアバレー構想実現プラン基本方針」での伊那谷地域の戦略的チャレンジ(具体的な取組)の追記
- ②「柱1 リニア本体工事関連」及び「柱2 社会資本整備関連」の、事業の進捗に合わせた時点修正
- ③「柱3 戦略的地域づくり」の、今年度から開始した「いいだ未来デザイン2028中期計画」の反映

ウッドショックの影響について

Q リニア駅周辺整備事業は、財政見通しを示し新型コロナウイルスに端を発する木材価格の高騰、いわゆる「ウッドショック」の影響で、移転先の住宅を作ろうとしても木が手に入らない、また、価格が上がったために自分の資金計画ではどうにもならないという事情を市民から聞いている。このような状況をどう認識しているか。

A ウッドショックに関わる市場への影響などは、今後明らかになってくると思われる。木材価格の高騰が補償基準にどのように反映されるかという検討はこれからである。大きな変動があれば補償額の時点修正が必要となる。全国的な事例、県内の事例などの様子を見て判断することとしたい。

国道153号飯田北改良について

Q 今後丹保北条地区などの代替地整備が進むと、交通量が増えて、市道との交差点でボトルネックが生じる可能性があるが、どう考えるか。

A 市道側の交差点から30メートルの間は、県が国道改良に合わせて車のすれ違いが可能な幅員に改良するとの説明を受けている。市道側の交差点から30メートル以降の部分に関しては、地元との協議を進め、代替地に居住する方々の利便性が高まるべく上がるような配慮をしていく。

リニア推進特別委員会管内視察と 「リニアデザインノート」等に関して

6月23日に新たな委員会構成による管内視察を実施するとともに、管内視察の前後に、「リニア推進ロードマップ」「リニアデザインノート」について、市リニア推進部の説明を聞きました。

管内視察では、上郷自治振興センターの駐車場からリニア事業の概観を確認した後、リニア駅周辺整備事業の進捗状況(上郷)、保守基地予定地(座光寺)、発生土置き場(下久堅)、黒田非常口(上郷)を訪れて、現地状況を把握しました。

また、「リニア推進ロードマップ」と「リニアデザインノート」等の説明を受けて、今後の委員会活動で進める調査研究活動の基礎となる事項を確認しました。



リニア代替地の整備が進む
丹保・北条地区 (2021年3月)

「南アルプスジオパーク」をテーマに議員研修会を開催

南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークについては、今年3月の日本ジオパーク委員会の認定審査結果が「条件付き」となったことを受け、6月1日の全員協議会において、市担当部局から今後の方向性に関して協議報告がありました。

このことを受けて、日本ジオパーク、南アルプスジオパークについて理解を深めるべく、日本ジオパーク委員会の中田節也委員長、日本ジオパークネットワークの齊藤清一事務局長を講師に迎え、市議会の主催による研修会を6月25日に開催しました。両氏から「日本ジオパーク」の理念、沿革、役割、ユネスコパークとの違い、「日本ジオパークネットワーク」の役割と運営、認定審査に対する考え方、各地域の取り組みなどについて講義していただきました。

ジオパークの対象区域にある飯田市と大鹿村、伊那市、富士見町の4市町村及び関係団体で南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク協議会を設立し、日本ジオパークネットワークに加入。2008年12月に日本ジオパークの認定を受け、4年ごとに再認定審査を受けてきた経過があります。

飯田市エリアの見どころとして、南アルプスをパノラマ展望できるしらびそ高原(写真A)、隆起と浸食がせめぎ合う峡谷のダイナミズムが見られる遠山川の埋没林(写真B)などがあります。

研修会では、「今後も関心を持ちながら、地域としての取り組みを考えていきたい」という意見も出されました。



写真A



写真B

表紙紹介

がんばっとるに!! 遠山

飯田コミュニティスクール・和田小学校学校運営協議会を中心に、学校存続危機が差し迫っている状況下において、地域ぐるみで魅力ある学校づくりを推進するとともに、子どもたちがふるさと「和田・飯田」の良さを実感して、郷土を愛する心を育み、将来当地域を支える人材になるように支援する取り組みの一環として学校・保護者・地域がひとつになって茶摘みに取り組んでいます。令和2年度は、かぐらの湯や飯田市役所で「わだっ子茶」と名付けて販売を行い、和田小学校PRチラシも付けて、本校を知ってもらう活動をしました。

表紙の写真は、新型コロナウイルスの感染警戒レベルが引き上げられたため、子どもたちだけで取り組んだ茶摘みの様子です。

議会の動き(予定)

- 第3回定例会
開会 8月31日(火)～閉会 9月27日(月)
- 委員会日程(傍聴可能)
 - 予算決算委員会前期全体会 8月31日(火)
 - 総務委員会 9月6日(月)～7日(火)
 - 社会文教委員会 9月7日(火)～8日(水)
 - 産業建設委員会 9月8日(水)～9日(木)
 - リニア推進特別委員会 9月13日(月)
 - 予算決算委員会後期全体会 9月22日(水)
- 一般質問(傍聴可能)
9月14日(火)～15日(水)
- 議会への請願・陳情は、8月25日(水)午後5時までに、議会事務局へご提出ください。

広報広聴委員会

委員長	福澤 克憲	副委員長	清水 勇
委員	下平 恒男	橋爪 重人	関島 百合
	筒井 誠逸	小林 真一	佐々木博子